

高田高校安塚分校だより



直峰通信

令和2年10月21日（水）発行

町のあちこちに、柳葉ひまわりの花が咲いております。心を和ませる黄色い花が分校生徒を毎朝出迎え、包み込み、そして見送ってくれています。四季折々の美しい花を眺めながら、生徒はマラソン大会に向けての練習に励んでいます。持久走の苦しさも一時和らいでしまいそうです。

その彩りもさることながら、あの夏の暑さにも負けず、ずっと青々と葉を伸ばしていたこの植物の強さも、印象に残ります。技術員さんによる支えをもらって、たくましく花を連ねる分校の柳葉ひまわり、自然の力にいつも感服させられます。



10月16日高校生就職試験スタート

例年より1ヶ月遅れで就職試験が始まりました。本校からも5名の生徒が16日からの試験に臨みました。これまで担任や進路指導部を中心に、職員一同で面接指導や作文指導にあたってきました。試験当日、生徒は少しずつ重ねた努力を発揮してくれたはずです。16日の試験後、学校へ報告に来た3年生から、「だいたい話すことができた」「思ったより緊張しなかった」という声を聞くことができました。「果報は寝て待て」と言われるよう、良い知らせを待ちたいと思います。このような経験を通し、生徒はまた磨かれていくのだと思います。3年生は高校生活も残り半年。就職試験という機会を通しさらに自分を高め、社会人として活躍できるよう、これからも指導していきたいと考えております。



遠足は県内の文化を実感

～1・3年生は松代・十日町 2年生は長岡へ～

中間考査を終えた10月8日、安塚分校では遠足を行いました。当日は雨模様でしたが、雨天を見越してのコース設定が結果的にうまくはまり、それぞれが知見を広めることができた有意義な行程でした。それぞれの学年が、遠足ならではの体験を積めたはずです。

1・3年生は虫川大杉駅集合、駅舎は無人駅に似合わず大きく、木を使った暖かみのある洒落た作りをしています。駅名の由来である大杉を見物した後〔右写真1年生〕、ほく



ほく線で松代へ。松代の古民家カフェ『澁い』を訪問。この地区で古民家再生を進めるカール・バンクスさんが営むお店を見学しながら、バンクスさんの講演も聴く機会に恵まれました。

担任の先生のつながりで、実現したこの企画、生徒も「日本の古民家の中にドイツの棚や本があったり、作りがおもしろかった」（3年男子）と述べておりました。なお、テレビ関係の取材ともかち合い、この様子が11月末、NHK-B Sで放映予定です。



昼食後、再びほくほく線で十日町へ。十日町博物館に行き、国宝「火焰型土器」や十日町の織物文化などを学び、そこから十日町情報館へ移動し、河岸段丘をイメージさせる図書館で、それぞれが思い思いに時間を過ごしました。

2年生は、秋に予定していた修学旅行が中止になり、それに代わる経験をと、担任がいろいろとコースを検討し、長岡でのテーブルマナー講習を中心とした行程となりました。朝、信越線犀潟駅に集合し、一路長岡へ。まず「長岡震災アーカイブセンター きおくみらい」を訪れ、当時の実情を思い起こしました。



昼、「ホテルニューオータニ長岡」へ移動し、テーブルマナーの講習会です。フランス料理を前にして、ホテルの方から本格的なレッスンを受けました。「左手でフォークを使うのに慣れなくて…でも、おいしかったです」（2年女子）。その後、新設の「長岡道の駅 ながおか花火館」に移動し、ドームシアターで、大迫力の長岡花火を体感してきました。みなが故郷の文化を再認識してくれたものと思います。



安塚分校文化祭「直峰祭」は校内開催に

11月2日（月）開催予定の直峰祭について、今年は新型コロナウイルス感染症拡大防止を考慮し、外来者の入場をお断りさせていただくことになりました。御了承いただきますようお願い致します。毎年多くの方々から来校いただき有難く感じております。来年こそと思っております。

11/11（水） 人権教育講習会 12（木） 生徒会役員立会演説会・選挙
17（火） 1・2学年PTA 27（金）～12/2（水） 期末考査

新潟県立高田高等学校安塚分校

〔担当：教頭 沢田貴博〕

〒942-0411 上越市安塚区下方129番地
HP <http://www.takada-h.nein.ed.jp/>

電話 025-592-2306 FAX 025-592-3541
mail school@tadakayszk-h.nein.ed.jp